

サンプル問題

令和■年度 大学院人文科学府修士課程第■期入学試験問題

令和■年度 大学院人文情報連係学府修士課程第■期入学試験問題

(日本史学)

- 人文科学府の受験者、および人文科学府・人文情報連係学府の併願受験者は、設問〔一〕～〔八〕から6問を選択し解答せよ。人文科学府・人文情報連係学府の併願受験者は、解答に際して人文情報連係学府の採点対象とする設問（語句問題の設問から2問、史料問題の設問から2問）の番号を□で囲むこと。
- 人文情報連係学府の専願受験者は、語句問題の設問〔一〕・〔三〕・〔五〕・〔七〕から2問、史料問題の設問〔二〕・〔四〕・〔六〕・〔八〕から2問を選択し解答せよ。
- なお、解答は全て縦書きとすること。

サンプル問題

〔二〕 日本古代史に関する次の①～⑧の用語から五つを選択し、それぞれ三行以内で説明せよ。

- ① 継体天皇
- ② 木簡
- ③ 蝦夷
- ④ 国司
- ⑤ 長岡京
- ⑥ 小右記
- ⑦ 刀伊の入寇
- ⑧ 国風文化

〔三〕 左に掲げた史料は、『続日本紀』天平元年（七二九）二月辛未（十日）条（『新日本古典文学大系』本）である。これに関する設問（一）～（二）に答えよ。

左京人従七位下漆部造君足・無位中臣宮処連東人等告密称、左大臣正二位長屋王私学左道、欲傾国家。其夜、遣使固守三関。因遣式部卿従三位藤原朝臣宇合・衛門佐従五位下佐味朝臣虫麻呂・左衛士佐外従五位下津嶋朝臣家道・右衛士佐外従五位下紀朝臣佐比物等、将六衛兵、囲長屋王宅。

- （一） 全文の訓読文（読み下し文）を作成せよ。
- （二） この史料が示す事件について、自由に詳論せよ。

サンプル問題

〔三〕 日本中世史に関する次の①～⑧の用語から五つを選択し、それぞれ三行以内で説明せよ。

- ① 荘園公領制
- ② 新補地頭
- ③ 異国警固番役
- ④ 室町殿
- ⑤ 守護在京制
- ⑥ 偽文書
- ⑦ 過書（過所）
- ⑧ 海東諸国紀

〔四〕 左に掲げた史料に関する設問（一）～（三）に答えよ。

『朝野群載』巻二十・異国（テキストは『新訂増補国史大系』本に拠る）

大宰府解 申請官裁事

言上高麗国牒尅通状

右、商人往反高麗国、古今之例也、因茲、去年当朝商人王則貞、為交関罷彼州之間、礼賓省牒尅通、相副錦綾・麝香等所送也、是則聞医師経廻鎮西之由、牒送旨、件則貞所申也者、異国之事為蒙 裁定、未検知件錦綾・麝香等、何況不請取、先相副件牒状、言上如件、謹解、

承暦四年三月五日

正

〔注〕 承暦四年＝一〇八〇年。

サンプル問題

(一) この文書に適切な古文書学的名称を付けよ。

(二) 一行目から六行目までを読み下せ。その際、適宜、読点を句点に置き換えること。

(三) この文書に記載される事柄のうち、どれに注目すべきであると考えるか。古代・中世の日本と高麗との関係についての知識を踏まえ、五行程度で述べよ。

〔五〕 日本近世史に関する次の語句①～⑤について、それぞれ四行以内で説明せよ。

- ① 伊豆蕤山代官
- ② 『西域物語』
- ③ 二条城
- ④ 横井小楠
- ⑤ 糸割符

サンプル問題

〔六〕左に掲げた史料に関する設問（一）～（二）に答えよ。

文政三年辰七月廿日、阿蘭陀カヒタンえ被仰渡

諸山の銅追年相減候に付、古に復し、出来らん迄は銅の員を減る間、持渡る所の品も可減旨、寛政度申渡置候処、其後、本国戦争ふ、依之、入津不致年柄も有之、当年に至り、戦争平和に及に付、江府拝礼も年々相勤、献上物も古人の通り差上度旨、且又、印度辺廃荒の諸商館再建致に付ては、莫大の費用相懸候故を以、銅の員を増度旨願ふ所の趣、其謂の無余義相聞候間、別紙を以定銅六十万斤の外、去る寅年より二十万斤宛の増銅余壱ヶ年五十万斤宛可相渡、依て持渡る所の品も右に准し、商売高相増、注文品々申付の通無相違、品合等も相撰積渡へし、江府拝礼の儀は不及沙汰、是迄の通可相心得也

（『天保雜記』国立公文書館蔵）

- （一）近世日本における銅貿易の概要を五行以内で述べよ。
- （二）史料冒頭の「文政三年」は西暦一八二〇年である。この時期のヨーロッパの情勢や長崎出島の状況を踏まえて、史料の内容を解釈せよ。

サンプル問題

〔七〕日本近現代史に関する①～⑤の用語について、それぞれ四行以内で説明せよ。

- ① 民撰議院設立建白書
- ② 台湾民主国
- ③ 戊申詔書
- ④ 金解禁
- ⑤ 新体制運動

〔八〕次の史料を読み、設問（一）～（三）に答えよ（史料は一部書き改めている）。

拝啓 其後御不沙汰仕候先以而愈々御機嫌ニ被為入奉大慶候扱而自由党も第一党たる地位を失ひ候処此際ニ処してハ淡々たる心境にて負け振のよいところを見するか大切政權之推移は自然ニ委ね候様ニ挙党一致其心得にて社会党をして出易からしむるやうニ仕向候様仕居候尚又過日清水枢相より大使信任状等ニ付御懸念の次第も拝承致候法制局側ニ多少の違見も有之候得共可成従前の型を追ひ御名の外外務大臣丈の副署と致候議會も廿日頃召集（技術的ニ其前召集六ヶ敷との議會側答申ニ基き）其前ニ総辭職の事ニ仕居候月末ニハ閑散と可相成書余ハ拝晤万縷之心得ニ御座候 頓首

五月三日
〔吉田茂〕

牧野父上様

サンプル問題

- (一) 傍線部について、内容を説明せよ。
- (二) 二重傍線部について、句読点を補いつつ、読み下せ。
- (三) この史料の作成年を推定し、記せ。あわせて、その根拠について、史料の内容を踏まえつつ、五行以内で説明せよ。